

第5期東久留米市市民環境会議 第7回会議録

会議名	第5期東久留米市市民環境会議第7回会議
日時	平成29年1月27日(金) 19時00分～21時15分
会場	東久留米市役所 7階 703会議室
出席者	出席委員数12名 欠席委員数4名
出席職員	環境政策課長 計画調整係長 緑と公園係長 計画調整係主事
<b>議 題</b>	
I. 報告事項	
1. 第5期第6回市民環境会議会議録(案)について	
2. 環境政策課からの報告 ①環境ウォッチング(冬の渡り鳥観察会)について ②かんきょう東久留米27年度版について ③予算要求状況について	
3. 第二次緑の基本計画中間見直し検討部会報告	
4. 環境フェスティバル実行委員会報告	
5. 各部会からの報告(「活動計画等報告」「5期10年の取り纏め」)	
6. 全体としての報告 ①今後の全体としての予定 ②会議体の今後の姿について ③広報関係(ロゴについて)	
II. 議題	
1. 環境フェスティバルへの参加について(募集2月)	
<b>配布資料</b>	
【資料1】 第5期第6回東久留米市市民環境会議会議録(案)	
【資料2-1】 第二次緑の基本計画中間見直しスケジュール	
【資料2-2】 生物調査結果及び生息環境状況	
【資料2-3】 緑被率の経年変化調査結果	
【資料2-4】 「地域戦略」策定に向けた主な課題	
【資料3】 環境フェスティバル実行委員会報告	
【資料4-1】 水とみどり部会報告	
【資料4-2】 湧水ウォッチンウォーク報告	
【資料4-3】 平成28年豊水期における湧水調査結果概要	
【資料5】 暮らし部会報告	
【資料6-1】 環境学習部会報告	
【資料6-2】 みどり塾(11月23日開催)報告	
【資料6-3】 みどり塾(1月22日開催)チラシ	
【資料7】 第5期市民環境会議 全体後半予定	
【資料8】 環境に係る市民参加推進組織の近隣自治体との比較	
【資料9】 東久留米市市民環境会議のロゴマーク作成について(案)	
<b>議事内容</b>	
I. 報告事項 (→は、意見、質問等)	
1. 第5期第6回東久留米市市民環境会議会議録(案)について【資料1】 ・ 配付資料のとおり了承された。	
2. 環境政策課からの報告	

①環境ウィッチング（冬の渡り鳥教室）について

・2/12に、東久留米バードウォッチングの会・自由学園協力のもとに実施。定員25名は満員

②平成27年度版かんきょう東久留米について

・市民環境会議の意見も踏まえ、環境審議会の評価をもらい、発行に至ったが本日、印刷が間に合わないので、近日中に送付する。

→発行の主旨は？

→環境基本計画・緑の基本計画の進捗評価のための年次報告書である。

→水質調査回数など反映されていない意見も多い。

→平成27年度版については先に各部会からの意見が課に提示されていて、それを年次報告書を所管する環境審議会に提示している。第三者的な意見も踏まれ今回の発行に至っている。

→平成28年度以降についての意見もあるのであろうが、それは今後のテーマとなる。また、調査内容・回数などについては予算との関係もあり、平成29年度への反映は困難な面もあるが、意見提示は意味があるのではないか？

→各部会で再度の意見提示などを検討するものとした。

③予算要求状況について（主要授業について。○は予算上程予定、×は見送り）

・空き家対策（調査委託費○、委員会費用×）緑の基本計画中間見直し○、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）○、猫の不妊去勢助成×、柳窪ひろばトイレ設置×、名木百選印刷×、井戸水位測定器○、井戸水位常時測定器設置×、公園施設長寿命化対策○、公園トイレ高压洗浄○、下谷公園トイレ設計○、竹林公園整備工事×、環境フェスティバル会場設営×

→空家の代執行などは行われるのか。

→代執行のためには条例整備が必要で、予算計上・制定は30年度以降となろう。

→環境関係に係る多くの項目が見送られた結果となって残念であり、次回を期していただきたい。

3. 第二次緑の基本計画中間見直し検討部会報告・・・環境政策課、委員

・2回の会議を開催し、基礎理解や現行計画の課題の抽出を行った。年度内に骨子案作成を行う。

【資料2-1】。また29年度当初に施策成果アンケートと合わせて市民意識調査を行う。

骨子案のまとまった後に、シンポジウムを計画している(6/25)。

→市民環境会議の係わりとして、今回「意見検討」とされているが、今回のテーマとするのか？

→骨子案ができた時点で「意見検討」を行っていく。今回のテーマとはしない。

→「緑の基本計画中間見直し」と「生物多様性戦略」が次年度以降、別々の流れとなっているが？

→実際は一体的に進行すると考えている。

→アンケートの設問数はどの位になるのか？

→トータルで100問程度になる。

・生物調査について既存調査のまとめと、空白域の調査結果は【資料2-2】のとおり。

→野火止用水歴史環境保全地域の生息種が多い、他市分も含まれているのでは？

→確認する。

・緑被率が23年度34.2%から27年度30.7%に減少している。【資料2-3】

・策定に向けたの課題は【資料2-4】のとおりとしている。

→緑被率の減少が気になりである。毎年の調査はできないとすれば、他の指標で進行管理するとかを考えるべきではないか？

→緑の基本計画における対策は今後検討していく。市街地化が進み人口が増えることは、一方で市のメリットでもある。

地目の変化で緑被地の現状を把握できないか検討する。

#### 4. 環境フェスティバル実行委員会報告【資料3】・・・委員

- ・29年6月10日・11日に実施。テーマは「きてみてアクション 環境フェスタ」
- ・実行委員長に柘植委員、副実行委員長に荒井委員、志藤委員が着任
- ・表紙デザインを自由学園生徒の大塚さんに依頼
- ・イベントとして、パネル出展、手作り広場、ごみ分別ゲーム、トムソーヤの川下り、地場産野菜販売、環境ポスターコンクール、苗木配布を実施予定。
- ・名木百選の認定、屋外体験イベントの企画を検討。生物写真展のPRの実施を検討していく。

#### 5. 各部会からの報告

##### ① 水とみどり部会・・・部会長【資料4-1】

- ・かんきょう東久留米26年度暫定版に対する修正事項指摘・要望を提出した。
- ・名木百選（仮称）について  
くるくるにも掲載し募集を行った。締切は12/26。応募総数324件、重複が76件。  
今後、選定委員会（市議、造園会社、見識のある市民、環境政策課長、水とみどり部会（事務局））を設置し、選定方法決定、推薦木と所有者確認、選定（2/28）を行う。

→名木百選の私有地にあるものの扱いは。

→私有地にあるものは1/4程度。所有者にヒアリングを行い発表方法に考慮する。

##### ・豊水期湧水調査について【資料4-3】

11月に実施。湧水点黒目川21/25、落合川39/45が確認された。水量2以上の地点は変わらず。調査結果も踏まえ湧水点の組み替え、湧水マップの改訂（追加7、新規8）を検討していく。

##### ・湧水ウォッチングウォークについて【資料4-2】

11/29に黒目川上流域で実施した。参加者15名、案内7名  
アンケート内容の報告を行った。

##### ・七福神めぐりに関して

1/14に実施され、部会として参加した。南沢湧水の脇でそのPR活動を行った。

##### ・その他

水循環に関わるデータ整理を行っている。今後、第5期のまとめ作業を進める。

##### ② 暮らし部会報告・・・環境政策課【資料5】

##### ・グリーンカーテンコンテストについて

応募15点から8点を選出し、11/8に表彰式を実施した。

##### ・暮らしフェスタについて

テーマを「暮らしの中の水問題”家の中の排水の行方“」として11/26～27に出展した。

##### ・エコロジックッキングについて

3/25に東部地域センター調理室において小学生を対象に実施する。

##### ・その他

5期10年のまとめ、第5期のまとめ作業を実施中

##### ③ 環境学習部会報告・・・部会長【資料6-1】

##### ○みのり塾について

- ・11/23に篠宮仁農園において「秋野菜の収穫と取立て野菜のおなべ」を開催。【資料6-2】  
参加15名、保護者スタッフ含め39名。子どもを交えた調理実施と感想を書きあった。
- ・1/22に篠宮仁農園において「サトイモ掘りと大根種まき」を開催。【資料6-3】

参加者 5 名、保護者スタッフ含め 15 名程度。対象は小学生のみ（幼児は畑で遊んでしまう）  
種イモの子イモ・孫イモの数は生産者も意識しておらず、数を数えゲームとした。

## 6. 全体としての報告

### ①今後の全体としての予定・・・座長【資料 7】

- ・今後 7 月末の任期末に向けて、会議開催予定及び 5 期 10 年の取り纏め、市民環境会議の今後の姿の検討、広報の充実（第 6 期委員募集支援含む）、第 5 期報告書及び提言取り纏めの実施予定についての説明があり、了解された。

→報告書作成中にも部会活動や環境フェスティバル参加があった場合の対応は？

→後で追加していくものとする。

### ②会議体の今後の姿について・・・座長【資料 8】

- ・【資料 8】による他市の事例紹介。市役所の内部に組織がある事例：東久留米市、三鷹市  
独立した組織がある事例：多摩市、小金井市
- ・今後、各部会でも検討を行い、全体会で報告をしていく。
- ・第 5 期中に方向性について結論がでなくても良いものとする。

### ②広報関係（ロゴについて）・・・委員【資料 9】

- ・【資料 9】に基づきロゴマークの作成意図やイメージについて説明。
- ・現在、外部のデザイナーに薄謝での作成を依頼中。
- ・第 6 期委員募集に間に合わせるように検討を進め、次回事務局会を踏まえて全体会で決定していく。

## II. 議題

### 1. 環境フェスティバルへの参加について

- ・参加申込みは 3/3 が締切であり、市民環境会議としての参加形態を決定したい。

#### ①事務局会案の説明

- ・昨年同様 3 部会と全体会の計 4 ブースの申し込みとする。
- ・各テーマゾーンごとの分散展示とする。

#### ②代替え提案

- ・全体会の展示を行うと、そこに人が割かれ、少人数の部会では負担が大き過ぎる(自分の部会で手一杯な状況にある)。
- ・分散展示ではなく一体的展示とすれば、対応が軽減される。
- ・今回の市民環境会議全体の強調テーマとして「名木百選」を考え、一体展示としてアピールするのが良い。

#### ③代替え提案に対する意見

##### ○全体会としての展示について

- ・全体会として特にアピールしたい事項もある。
- ・少人数の部会の負担軽減については運用面での工夫で凌ぐことができるのではないかな？

##### ○分散展示～一体展示

- ・一体展示として市民環境会議のプレゼンスを強調するのは、環境フェスティバルの他の参加団体から見れば違和感を持たれる可能性も有る。
- ・各テーマゾーンで各部会がそこに溶け込んで展示するのは相当の意味がある。他の団体との交流もできる。
- ・分散展示でも、計画しているロゴマークを活用する等で一体性を持たせることは可能(そもそも

もそのような目的で作成を考えている)。

○名木百選のアピール

- ・基本的にはその様に考えることはOKではないか。
- ・環境フェスティバルでのスペース 105 を利用した名木の写真展、また別途地域センターでの写真展示、名木めぐり等も考えられる。
- ・全体会のブースで相当のアピールをし、水み部会以外でも紹介するなどで強調は可能。

④結論

各ブースごとに3部会および全体会の4ブースの申込みとして、詳細は今後検討していく。

■次回全体会■

- ・4月の開催を予定する。

以 上